



避難所生活などを体験 一日高中・防災学習一



10月22日(金)、日高中学校(柴田耕治校長)で防災学習が行われ、1年生73名が間仕切りでの避難所生活、新聞紙スリッパ作り、非常食の試食などを体験しました。

町防災担当職員から台風や地震などの災害のことや災害時の避難のことなどについて説明を受けた後、3グループに分かれてそれぞれの体験へ。間仕切りの中に入れてマットの上に寝転んで居心地を確認したり、新聞紙を利用した簡易的なスリッパで卵の殻の上を歩いて実用性を確認したりしました。また、お湯や水で簡単に作れる白米の非常食を試食。災害時の生活を体験し、防災について理解を深めました。



「いもほり」体験 —内原保育所—

10月5日(火)、内原保育所(川端雅子所長)の園児ら約100名が、原谷地内の畑で「いもほり」を体験しました。

園児たちは、一生懸命に畑を掘り、大きいサツマイモを掘り当てると「見て、見て、おっきいのとれたよ」とおおはしゃぎ。

畑は、園児たちの歓声と笑い声につつまれました。



元気いっぱい —2園保育所交流会—

10月22日(金)、内原保育所で、志賀保育所(岩橋かをる所長)と内原保育所(川端雅子所長)の園児ら63人がミニゲームなどで交流しました。

園児らは、玉入れ・4色リレーをした後は、おやつのジュースで水分補給し、三輪車リレー・二人三脚を4チームに分かれて競いました。

二人三脚では、「いち・に・いち・に」と声を掛け合うなど普段会うことができないお友達と楽しい時間を過ごしました。

見事優勝した緑色チームのみんなは、お手製の優勝メダルを首にかけてもらい記念撮影をしました。

